

9 予算執行状況について（税込み）

予算執行の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入

（単位：円、％）

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B)－(A)	執行率 (B)/(A)×100
水道事業収益	823,115,000	822,590,810	-524,190	99.9
営業収益	802,235,000	801,224,095	-1,010,905	99.9
営業外収益	20,879,000	21,366,715	487,715	102.3
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
鶴形簡易水道事業収益	8,297,000	8,253,019	-43,981	99.5
営業収益	7,227,000	7,185,156	-41,844	99.4
営業外収益	1,069,000	1,067,863	-1,137	99.9
特別利益	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	831,412,000	830,843,829	-568,171	99.9

水道事業会計の収益的収入の決算額は830,843,829円で、予算現額と比較して568,171円（0.1％）の減となっている。

①水道事業収益

水道事業収益の決算額は822,590,810円で、予算現額と比較して524,190円（0.1％）の減となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益761,047,733円、下水道使用料徴収事務受託収入36,320,000円であり、営業外収益では他会計補助金20,601,869円である。

②鶴形簡易水道事業収益

鶴形簡易水道事業収益の決算額は8,253,019円で、予算現額と比較して43,981円（0.5％）の減となっている。この主な内容は、営業収益では給水収益7,170,156円、営業外収益では他会計補助金1,066,340円である。

③収入状況

◇給水収益の収入状況

給水収益現年度分の収入率は水道事業が98.2％、鶴形簡易水道事業が98.6％となっている。前年度と比較してみると、水道事業は0.1ポイント向上し、鶴形簡易水道事業は0.4ポイント低下している。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は7,425,419円で、前年度より845,769円減少している。また、不納欠損後の調定額21,962,654円に対する収入率は66.2％で、前年度と比較して0.7ポイント向上した。ここ数年、滞納繰越分の未収金額は毎年減少してきているが、未だ700万円以上の未収金額となっている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0％で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次の表のとおりである。

(単位：円、%)

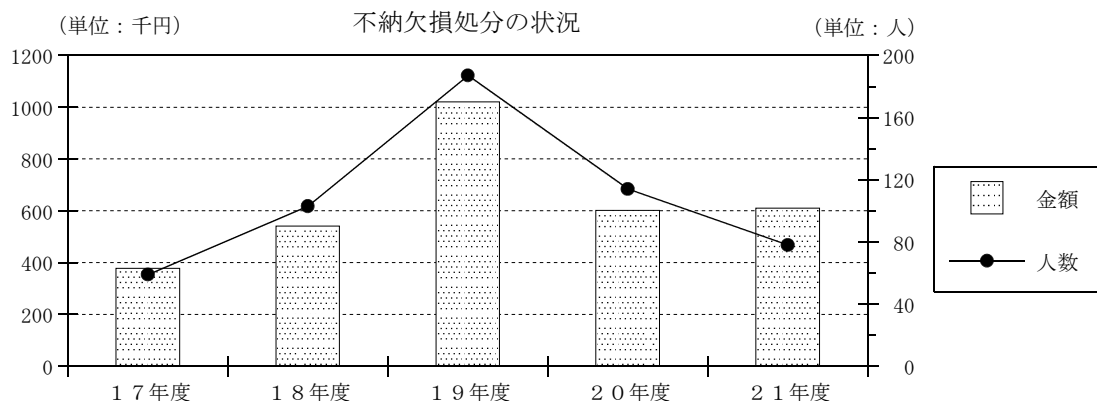
区	分		調 定 額	不納欠損額	差引調定額	収 入 額	未 収 入 額	収入率
現 年 度	水道事業	営 業 収 益	801,224,095	0	801,224,095	787,457,715	13,766,380	98.3
		給 水 収 益	761,047,733	0	761,047,733	747,572,353	13,475,380	98.2
		その他の営業収益	40,176,362	0	40,176,362	39,885,362	291,000	99.3
		営 業 外 収 益	21,366,715	0	21,366,715	19,900,740	1,465,975	93.1
		計	822,590,810	0	822,590,810	807,358,455	15,232,355	98.1
	鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	7,185,156	0	7,185,156	7,085,819	99,337	98.6
		給 水 収 益	7,170,156	0	7,170,156	7,070,819	99,337	98.6
		その他の営業収益	15,000	0	15,000	15,000	0	100.0
		営 業 外 収 益	1,067,863	0	1,067,863	534,693	533,170	50.1
		計	8,253,019	0	8,253,019	7,620,512	632,507	92.3
小 計		830,843,829	0	830,843,829	814,978,967	15,864,862	98.1	
繰 越 分	水道事業	営 業 収 益	22,573,059	610,405	21,962,654	14,537,235	7,425,419	66.2
		給 水 収 益	22,573,059	610,405	21,962,654	14,537,235	7,425,419	66.2
		その他の営業収益	0	0	0	0	0	—
		営 業 外 収 益	0	0	0	0	0	—
		計	22,573,059	610,405	21,962,654	14,537,235	7,425,419	66.2
	鶴形簡易水道事業	営 業 収 益	70,540	0	70,540	70,540	0	100.0
		給 水 収 益	70,540	0	70,540	70,540	0	100.0
		その他の営業収益	0	0	0	0	—	—
		営 業 外 収 益	0	0	0	0	—	—
		計	70,540	0	70,540	70,540	0	100.0
	小 計		22,643,599	610,405	22,033,194	14,607,775	7,425,419	66.3
	合 計		853,487,428	610,405	852,877,023	829,586,742	23,290,281	97.3

◇不納欠損の状況

不納欠損処分額は610,405円で、前年度に比較して8,861円(1.5%)の増であり、いずれも水道事業分である。対象者は78人(法人を含む)で、前年度に比較して36人の減となっている。

不納欠損の理由は、無届転居が63件、倒産・廃業が3件、死亡8件、消滅時効4件となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



(2) 収益的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
水 道 事 業 費 用	796,824,000	783,066,643	-13,757,357	98.3
営 業 費 用	608,722,000	595,531,451	-13,190,549	97.8
営 業 外 費 用	188,002,000	187,532,132	-469,868	99.8
特 別 損 失	100,000	3,060	-96,940	3.1
鶴形簡易水道事業費用	8,096,000	7,882,156	-213,844	97.4
営 業 費 用	5,964,000	5,751,522	-212,478	96.4
営 業 外 費 用	2,131,000	2,130,634	-366	100
特 別 損 失	1,000	0	-1,000	0.0
合 計	804,920,000	790,948,799	-13,971,201	98.3

収益的支出の決算額は790,948,799円で、予算現額と比較して13,971,201円（1.7%）の減となっている。

水道事業費用の決算額は783,066,643円で、予算現額と比較して13,757,357円（1.7%）の減となっている。また、鶴形簡易水道事業費用の決算額は7,882,156円で、予算現額と比較して213,844円（2.6%）の減となっている。

営業費用の主な内容は、人件費、配水設備の修繕料、浄水場の維持管理委託料、減価償却費等で、営業外費用の主な内容は、企業債の支払利息及び納付消費税等である。

(3) 資本的収支

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
資 本 的 収 入	546,642,000	543,687,136	-2,954,864	99.5
水 道 事 業	546,642,000	543,687,136	-2,954,864	99.5
鶴形簡易水道事業	0	0	—	—
資 本 的 支 出	899,943,000	886,171,674	-13,771,326	98.5
水 道 事 業	899,668,000	885,919,684	-13,748,316	98.5
鶴形簡易水道事業	275,000	251,990	-23,010	91.6
差 引	-353,301,000	-342,484,538	—	—

資本的収入及び支出の決算額は、収入543,687,136円、支出886,171,674円であり、予算の執行率は、収入99.5%、支出98.5%である。予算と決算の差額のうち、収入は160,000円、支出は498,704円が翌年度へ繰り越しされており、これは山瀬ダム公共堰堤改良事業に係る負担金である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）342,484,538円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	12,784,696	12,784,696	0
	減 債 積 立 金	372,000	372,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	195,354,938	195,354,938	0
	当年度分損益勘定留保資金	291,299,437	133,930,004	157,369,433
	減 価 償 却 費	290,933,243		
	資 産 減 耗 費	366,194		
	当年度未処分利益剰余金	77,546,803	0	77,546,803
	計	577,357,874	342,441,638	234,916,236
鶴形簡易水道事業	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	11,900	11,900	0
	減 債 積 立 金	31,000	31,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	0	0	0
	当年度分損益勘定留保資金	2,700,855	0	2,700,855
	減 価 償 却 費	2,700,855		
	資 産 減 耗 費	0		
	当年度未処分利益剰余金	4,819,008	0	4,819,008
	計	7,562,763	42,900	7,519,863
合 計	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	12,796,596	12,796,596	0
	減 債 積 立 金	403,000	403,000	0
	過年度分損益勘定留保資金	195,354,938	195,354,938	0
	当年度分損益勘定留保資金	294,000,292	133,930,004	160,070,288
	減 価 償 却 費	293,634,098		
	資 産 減 耗 費	366,194		
	当年度未処分利益剰余金	82,365,811	0	82,365,811
	計	584,920,637	342,484,538	242,436,099

前項の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額584,920,637円に対し、資本的収支の不足額は342,484,538円であり、残り242,436,099円が翌年度へ繰り越されることになる。

(4) 資本的収入

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
資 本 的 収 入	546,642,000	543,687,136	-2,954,864	99.5
企 業 債	391,200,000	391,200,000	0	100.0
出 資 金	29,217,000	29,050,765	-166,235	99.4
国 庫 補 助 金	87,763,000	87,763,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	6,375,000	6,374,821	-179	100.0
他 会 計 負 担 金	7,479,000	7,379,400	-99,600	98.7
工 事 負 担 金	24,608,000	21,919,150	-2,688,850	89.1

①企業債

企業債の決算額は391,200,000円で、当年度の借入額には補償金免除繰上償還に係る借換債160,900,000円が含まれている。

②出資金

出資金の決算額は29,050,765円で、これは、北東部地区配水管布設及び山瀬ダム公共堰堤改良事業に係る一般会計出資金である。

③国庫補助金

国庫補助金の決算額は87,763,000円で、この内訳は、管路近代化事業に係る国庫補助金49,000,000円、北東部地区配水管布設に係る国庫補助金28,801,000円である。また、老朽管更新事業に係る国庫補助金9,962,000円は、前年度から繰り越された事業への充当分である。

④他会計補助金

他会計補助金の決算額は6,374,821円で、山瀬ダム建設負担金に係る元金相当分である。

⑤他会計負担金

他会計負担金の決算額は7,379,400円で、消火栓新設及び更新に係る負担金である。

⑥工事負担金

工事負担金の決算額は21,919,150円で、主な内容は、下水道工事に伴う配水管移設分14,650,000円で、その他、檜山川運河河川改修に伴う配水管移設分6,229,650円などである。

(5) 資本的支出

(単位：円、%)

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	執 行 率 (B) / (A) × 100
水道事業資本的支出	899,668,000	885,919,684	-13,748,316	98.5
建設改良費	454,863,000	441,114,983	-13,748,017	97.0
企業債償還金	444,805,000	444,804,701	-299	100.0
鶴形簡易水道事業資本的支出	275,000	251,990	-23,010	91.6
建設改良費	275,000	251,990	-23,010	91.6
企業債償還金	0	0	0	-
合 計	899,943,000	886,171,674	-13,771,326	98.5

①建設改良費

水道事業の建設改良費の決算額は441,114,983円で、予算の執行率は97.0%となっている。この内訳は、建設費168,034,782円、管路近代化事業費231,153,461円、繰越建設改良費41,393,100円、機械及び装置533,640円である。主な工事については、決算附属書類の「2. 工事(1)建設改良工事等の概況」に記載されているとおりである。

なお、水道事業の資本的支出の予算額には、前年度からの繰越額41,394,000円が含まれている。また、未執行額13,748,017円には、地方公営企業法第26条の規定による予算の翌年度繰越額498,704円が含まれている。

鶴形簡易水道事業の建設改良費の決算額は251,990円で、この内訳は水道施設情報管理システム保守業務委託等である。

②企業債償還金

水道事業の企業債償還金の決算額は444,804,701円で、このうち161,038,023円は繰上償還によるものである。

(6) 予算議決事項

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第7条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第8条他会計からの補助金、第9条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

(単位：円)

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	361,400,000	391,200,000	29,800,000
一 時 借 入 金	300,000,000	0	-300,000,000
職 員 給 与 費	89,725,000	87,374,580	-2,350,420
交 際 費	10,000	0	-10,000
他 会 計 補 助 金	28,044,000	28,043,030	-970
た な 卸 資 産	12,714,000	5,779,423	-6,934,577

企業債の議決額と執行額の差額29,800,000円は、前年度において議決されたもので、充当される管路近代化事業の一部工事が繰越となったため、当年度で予算執行されたものである。